

## 《第 17 号》「100 万人のキャンドルナイトの広がり」

藤田 和芳(大地を守る会 会長)

「100 万人のキャンドルナイト」というイベントをご存知でしょうか?1 年で一番長い夏至の日の夜に、2 時間だけ電気を消すという運動です。1 昨年、「大地を守る会」や「ナマケモノ倶楽部」などの NGO が呼びかけたところ、あっという間に日本中に広まりました。今年は夏至の日の 6 月 21 日を最終日として、6 月 18 日(土)～21 日(火)までをキャンドルナイトの日とし各地で様々なイベントが実施され、日本全国で 664 万人もの人が参加しました。とくに、19 日(日)は東京タワーをはじめとして札幌時計台、姫路城、首里城など全国のライトアップ施設がいっせいに消灯されました。

参加者は、思い思いのスタイルで 2 時間だけ電気を消し、スローな夜を味わえばいいのです。ロウソクの光で子供に絵本を聞かせる。静かに恋人と食事をする。ある人は省エネを、ある人は平和を、ある人は世界のいろいろな場所で生きる人々のことを思う。ちょっとプラグを抜くだけで、今までとはまったく違う世界が見えるかもしれないのです。私たちの生活のあり方、文明のあり方を捉え返すきっかけになるかもしれません。

このイベント、今年は世界 160 か国にも呼びかけました。自分のささやかな行動が、世界中の人々と繋がっていると感じるのはこの上なく楽しいことではないでしょうか。次回の「100 万人キャンドルナイト」にあなたも参加してみませんか?

以上